大塚敬節
矢数道明 責任編集

近世漢方医学書集成

36 中西深斎 二

名著出版刊

NANJING UNIVERSITY OF CHINESE MEDICINE
南京中醫藥大學
1954
南京中医药大学图书馆版权所有

近世漢方医学書集成 36
中西深斎(二)
第II期 全30巻

昭和五十六年四月二十三日 発行

編者 大塚敬節 矢数道明
発行者 中村安孝
発行所 株式会社 名著出版
東京都文京区小石川三ノ十ノ五
電話東京(八一一五)一二七〇番(代)
振替口座 東京七—一〇七四四番

予約限定版

製版所 株式会社 日本写真製版社
印刷所 有限会社 伊藤印刷
製本所 辻本製本所

落丁本・乱丁本はお取替えします。

3347—0887—8324

責任編集

大塚敬節

矢数道明

編集委員

山田光胤

寺師睦宗

大塚恭男

矢数圭堂

松田邦夫

凡　例

一、本書第三十六巻「中西深斎㈠」には、『傷寒名数解』を収録した。

一、本書は全て影印版によって収録した。影印にあたっては次のようにした。

イ、新たに柱と頁数を付した。

ロ、底本を縮小し、一頁に半丁ずつ収めた。

ハ、裏表紙や記事のない白紙は省略した。

ニ、本文中の蔵書印及び所蔵者による書き込み等は、全て省略した。

一、底本は次の通りである。

傷寒名数解　版本（安永三年版）　五巻五冊（矢数道明所蔵）

一、本書収録書目の解題については、第三十五巻「中西深斎㈠」に記した。

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.com

中西深斎　二

目　次

凡　例……五
傷寒名数解
巻一……三
題名弁……五
自序弁……一六
弁脈法及平脈法弁……一八
傷寒例弁……二六
痙湿暍弁……三〇
弁汗吐下弁……三三
巻二……三七
目次……三九
寒五名……四一
三陽三陰……四五
傷寒中風……五一

合病併病……五五
冒首……六五
正属……七七
脈候……七八
熱五道十二名……八四
悪寒三道……九一
頭痛頭眩各二道……一〇一
嘔吐各二道附噦……一〇五
咳喘各二道……一一六
卷三……一二三
目次……一二五
疼痛二道……一二七
煩躁四道……一三三
汗二道附発汗之弁……一三五
消渇四道附承気白虎之弁……一四九
腹満二道……一五八
腹痛二道……一六四

燥尿宿食八道……一六七
瘀血二道……一七一
下利六道……一七四
厥二道……一八二
巻四……一九五
目次……一九七
日数……一九九
挈因命証……二〇五
方証互略……二〇九
方従表裏……二一四
数量……二二八
加減法……二三三
服法……二七〇
巻五……二九三
目次……二九五
蔵府三焦……二九七
栄衛……三〇五

虚実……三〇九
死生……三一五
三権……三二二
仁術……三二五
古今方……三二九

傷寒名数解

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.com

傷寒名數解

一

No.

温知堂醫院藏書

書名	著者	流派	年代	刊寫	入手	完缺
					昭和 年 月 日	卷 冊

矢數道明藏書

共五冊

傷寒名數解卷一

平安　中西惟忠子文甫著

醫藥之道、蓋昉于農黄氏云、素靈二書、雖名於黄岐氏乎、非實有其問、而實為之對者也、惟於行文之間、假以為之體裁、猶後人設於或問、以明義於答也、不知其出于何人之手耶、醫之稱農黄氏也、亦猶道家之稱黄老、惟神其所由耳、素靈固非黄岐氏之所撰也、農黄氏邈矣、尚書之肇于唐虞也、學者必考信于

此則素靈之果成于黄岐氏耶先于尚書年世其幾何雖道之不同而文辭之不相肖其何太遠也說者以為先秦之偽撰或以為六朝之辭氣此皆似有所見者也乃今審其文脉固不能升於六朝之上然猶可考于今者雜存乎其間則非可全廢也葢當其撰之之始也幸有古語之傳者且補綴且數演首之尾之羽之毛之以成其篇而已故今將欲讀其書以考信于此豈可不善擇哉夫醫者事之為也為之存於人存於人之故必俟其人苟非其人道不虛行往昔之於事之為也不傳之書而傳於言是以史之所載

雖有和緩俞腑文摯扁倉之輩徒稱其名又何有其事之為之可考於書于今哉如八十一難傳云扁鵲之所述雖然史記無作難經之言或云吳呂廣之所偽撰然則其非正書審矣又何可考之于今哉當秦之時雖坑儒焚書乎醫幸免其厄則其書不可不全傳也而今素靈及八十一難之書既已如此則醫之於古傳之於書者固希醫之於古果不傳之書而傳於言也然則其適傳之於書亦必其禁方而非其道之盡于此者也何以覩其術之所為者故非俟其人而口授面命則必有所不盡焉如長桑君之於秦越

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.com